

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 8月 28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170202055		
法人名	有限会社 ティージー・サポート		
事業所名	グループホーム 伏古公園		
所在地	札幌市東区伏古1条2丁目3番23号 (電 話) 011-781-2338		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成20年 8月27日	評価確定日	平成20年9月26日

【情報提供票より】(20年 8月 7日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年 9月 13日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤16人 非常勤 0人 常勤換算12.5人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1～2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,000円	その他の経費(月額)	25,000 円
敷 金	有(82,000 円)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 450 円
	夕食	500 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,300 円		

### (4) 利用者の概要(8月27日現在)

利用者人数	18名	男性 8名	女性 10名
要介護1	5名	要介護2	8名
要介護3	2名	要介護4	2名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 82.4歳	最低 71歳	最高 97歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	みよか内科クリニック	恵佑会東病院	高台病院
---------	------------	--------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームの名称「伏古公園」の名のとおり、住宅街にあって広大な広さを有する伏古公園に接する立地条件にあります。リビングの窓からは大きく葉を広げたプラタナスがホーム全体を包みこむように生い茂っているのが眺められます。このような環境のなか、利用者はゆったりとした安らぎの暮らしが続けられています。管理者及びスタッフ全員が利用者との会話を大切に、一人ひとりの思いを把握する努力が続けられており、入浴に際しての一对一の関係も会話への大切な時間となっています。また、家族の意見や要望、苦情の聴取も介護計画の提示の機会を利用するなど、前向きな姿勢が見えます。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、理念の地域への啓発の取り組み、日常生活における地域との連携、外部研修への積極的な取り組みなど、何れも着手して、改善もしくは改善の兆しを見ることができます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全てのスタッフが関与して日頃のサービスの提供、質の向上に関して自らを省みながら作成されています。今回の取り組むべき項目も改善計画シートの利用により、計画的な取り組みが予定されるなど、前向きな姿勢が見えます。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議を構成するメンバーも熱心であり、かつ会議の内容も充実しています。開催の回数が不足していますが、適時、商店街の方々、少学校・保育所関係者、警察官など柔軟にメンバーを加えての開催、また、会議の内容に評価と取り組みの進展状況報告、災害対策への地域住民の協力などを取り入れて、会議の活性化と開催回数増への今後の取り組みを期待します。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>介護記録を「ふれあい日誌」として家族のもとに送付して、利用者の日々の様子をお知らせしており、家族の安心と信頼を得ています。また、その際に家族の意見や要望、苦情などの聴取に努めるなどの対応が図られており、サービスの質の向上に役立っているほか、ホーム運営にも反映して改善されています。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>開設以来、4年を迎えようとしており、地域に認識されてきています。町内会の回覧にもホームの便りが綴じこまれて住民の目に触れる機会が多くなり、親しみのある挨拶も交わっています。毎年、公園の緑地の中でのプランター作りは町内からも温かく迎えられています。ホームでは利用者の状況を考慮しながら、地域の行事に参加するなど連携を深めるよう検討されています。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会とのつながりを深めつつ、利用者の安全安心と尊厳のある生活の堅持を理念に盛り込みながら、サービスの質を高めようとする姿勢が見られました。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者とスタッフは、利用者との暮らしの中で常に理念を身近に感じながら、互いに共有を図り実践しています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、機会あるごとにグループホームの理解を求める活動が続いています。町内会の祭りや伏古公園夏祭りに参加するほか、利用者が作る花一杯のプランターは10個を数え、公園の歩道に彩りを添えています。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の作成に当たっては、スタッフ全員が日頃のサービスの提供を省みて作られています。また、外部評価の結果を真摯に受け止めながら、フロア会議などで改善に向けた取り組みがされています。今後は改善計画シートの利用による「計画と実践」も運営推進会議に報告しながら取り組む予定となっています。		

札幌市東区 グループホーム 伏古公園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーは女性が多く、内容もヒヤリハットや事故報告など赤裸々な報告に加えて、専門知識の説明やホーム運営上の質疑応答も熱心かつ的確に行なわれていますが、開催の回数が少ない状況にあります。	○	会議内容の固定化を避け、会議内容によっては、商店街、学校関係者、消防、警察などのメンバーを加えるなど、柔軟かつ豊富な内容で開催回数の頻度を高める取り組みを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険制度などの内容確認のほか、生活保護への相談など、区の担当者とは随時話し合いが持たれています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「ふれあい日誌（日々の介護記録）」を家族のもとへ送付して利用者の暮らしぶりを知ってもらうようにしています。また、金銭管理の報告も併せて行なっていますが、スタッフの異動は家族に周知されず、不安な一面も垣間見ることができます。	○	利用者は勿論、家族の方々にとってもスタッフとの慣れ親しんだ関係が揺らぐと不安はつります。家族の方々へのお便りの一部にスタッフ欄を設けて異動もお知らせするなど、不安解消への取り組みを期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ユニット毎に利用者一人ひとりの連絡ノートで家族の意見聴取が図られています。介護計画の内容を送付の際も、返送にあわせて意見を書いていただき、ホームの運営に反映させるようにしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、これまでに法人が有する二つのグループホームのサービスの質の向上のため、スタッフの異動を行なってきましたが、これからは極力最小限の異動とし、利用者の馴染みの管理者、スタッフによるサービスの提供を心掛けるようにしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者はスタッフのスキルアップを図るため、外部での研修案内や参加を促すなどしています。また、スタッフも認知症の理解をより深めるため積極的に参加しています。利用者の暮らしの中からの学びに加え、協力医師や薬剤師による講話も予定されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は市や区の管理者会議に出席してほかの業者との意見や情報の交換をしています。ホームの相互訪問やスタッフの交流も含めた実現化への話し合いがされています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の前に、自宅や病院を訪問し面談、また利用者と家族の方々のホーム見学も行なわれています。入居後の1カ月は家族の方々の協力も得て、新しい生活に馴染んで、穏やかに過ごせるようスタッフは細やかな配慮をしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは利用者との暮らしの中で、人生の大先輩として尊敬し、自分の家族としての心持ちで、一人ひとりが落ち着いてゆったりと過ごせるよう気配りして、支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフは、利用者と一対一での会話の機会を大切にしています。特に入浴時の一緒に過ごす時間は会話や表情、全体の反応などから、希望や意向を把握できる良い機会と捉えています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の介護記録は複写製であり、家族に送付し利用者の状況を良く知ってもらうようにしています。また、その際には口頭、文書などで家族の要望や意見の聴取に努めています。計画の作成では健康面での情報やスタッフ全員の気づきを反映させて、利用者本位の計画が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月に1度の定期的な見直しのほか、状況の変化が生じた場合は、医師や看護師の指導を仰いで速やかな見直しが行なわれています。スタッフ全員でアセスメント、モニタリングを実施し、暫定プランが作成されケアプラン会議で更に検討が加えられて、現状にマッチした介護計画が作成されています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況により、入退院の支援及び特別な外出の要望に応じてホームが持つ多機能性を活かした支援が行なわれています。また、転居などの事情には転居先の情報収集や交渉など、ホームがもっているネットワークを利用しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のかかりつけ医への受診には、スタッフが付き添う支援が行なわれています。また、ホームの主治医は2週間毎に往診があり、健康管理が行なわれているほか、緊急時にも対応可能な体制に加え、週1回の訪問看護も実施されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には、利用者が重度化した際の対応指針について、利用者や家族の方々へ十分に説明し、契約書と同様に同意書が作成されています。管理者は今後、ターミナルケアについてスタッフとともに学ぼうとする意欲が感じられます。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者、スタッフは日頃から利用者に対する言葉かけに注意して、利用者の尊厳を大切にすほか、プライバシーを損なわない配慮を心掛けています。会報などに掲載の写真は予め同意を得るなどしています。面会簿も一部改善に向けた検討が進められています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	スタッフの勤務体制の改善により、余裕のある利用者への対応が検討されており、一人ひとりの希望に添った、その人らしい暮らしへの支援が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の献立は、運営法人により作られ統一メニューとなっています。運営者は栄養のバランスなど3ヵ月ごとに栄養士の指導を受けています。利用者は調理の手伝いや準備をスタッフとともに行ない、楽しい会話の中、食事と一緒にこなされています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日はおおよそ決められていますが、利用者の状況及び希望により何時でも利用できるよう配慮がされています。現在、夜間の入浴希望はありませんが、シャワー浴などは随時行なわれています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は花壇や畑の水やり、公園のプランター作りなど共同作業を楽しんでいます。また、将棋が取り持つ縁で男性の利用者同士に会話が芽生えるなど、楽しみごとによる支援が行なわれているほか、最近設置のカラオケ設備も好評で愛好者が増えています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、向かいの公園での散歩が日常的に行なわれ、公園の草花観賞やハトの餌やりなど、公園での楽しい時間を過ごしています。外食や少し遠方の外出も取り入れて、閉じこもりの防止に配慮するなど、スタッフのシフト変更などによる支援がされています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は、利用者の希望に任せて安心の暮らしができるよう取り組んでいます。玄関は夜間8時以降は防犯に配慮して施錠されています。		

札幌市東区 グループホーム 伏古公園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の支援を受けての防災訓練、自主避難訓練など年2回実施されています。夜間想定 の避難訓練も行なわれていますが、地域の住民の方々との協力体制がまだ十分ではありません。	○	災害など緊急を要する場合、スタッフのマニュアルに従った対応もさることながら、近隣の住民の方々の支援協力が欠かせません。日頃から緊急時における協力が得られるよう、働きかけなどの取り組みを期待します。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の体調に合わせた食事、水分の摂取量がチェックされて、しっかりと確保されるよう支援されています。カロリーなど栄養バランスも医師や看護師の指導を受けて配慮がされています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング兼食堂では、隣接の公園の緑が一望でき、公園の中にホームがあるのではと錯覚さえ覚えます。大きなトイレ、家族の宿泊室など工夫がされて居心地の良い共用空間が作られています。一部に畳のコーナーも設けられて寛ぎの場となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の内部は、全て利用者の持込みのベッド、整理ダンス、テレビなど慣れ親しんだものが並んでいます。窓からの柔らかな日差しが落ち着いた生活に彩りを添えています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。